

西

～にし～

Good News

■府中けやきの森学園 「切れ目のない支援体制を目指したところの健康教育」

本校の児童・生徒たちは、悩み事や困り事を整理し、言葉にして、それを誰かに伝えたり、相談したりすることが苦手です。卒業後の切れ目のない支援体制を目指し、東京都多摩府中保健所と連携して「ところの健康教育」に令和3年度から取り組んでいます。その中で課題を整理し、特別支援学校の生徒向けの「普及啓発ツール」を、多摩府中保健所、地域支援者（府中・調布・三鷹・狛江市の相談支援機関）、保健師の資格をもった大学教授、公認心理師、本校とで検討会を組織し、作成しました。

令和5年12月6日(水)、このツールを多くの教職員、そして地域支援者が活用し、支援の基盤を広げられるよう、公開授業・説明会を実施しました。公開授業には、卒業後に相談できる相手である保健師や地域支援者の参加もありました。高等部3年の生徒より「悩みがあったら、溜めこまずに相談したほうがいいんだと思いました。」「すごく役に立って、卒業後も相談できる人を探していこうと思いました。」「どうしたらモヤモヤを減らすことができるのか、授業を受けてとても良く分かりました。」などの声が聞かれ、実際に相談に来たり、悩みや心のモヤモヤを話したりしてくれる生徒も増えました。3年間継続してところの健康教育を行い、学習を積み重ねてきたことで、生徒たちの理解も深まり「SOSを出す力」が身に付いてきたことを実感しています。

在学中から地域と連携してところの健康教育に取り組むことで、児童・生徒だけでなく、地域の支援者が相談を受け止める力を向上させることもでき、結果として卒業後も切れ目のない支援が実現できると確信しています。卒業後も生徒が安心して生活していけるよう、連携してまいります。

（主幹教諭・吉岡 美佳）



▲「普及啓発ツール」



▲ 公開授業の様子

配信済みのGood Newsは、以下の掲示板から御覧になれます。

[【令和5年度GoodNews】](#) [【令和4年度特集号】](#) [【令和4年度GoodNews】](#) [【令和3年度GoodNews】](#)